

北京日本学研究センター創立 25 周年（大平学校 30 周年）  
記念国際シンポジウム  
「世界における日本学研究の趨勢と連携」  
および  
語学研究センター大平財団優秀修士論文賞授賞式  
大平学校設立 30 周年記念大平学校同窓会

《概 要》

行事名：北京日本学研究センター創立 25 周年（大平学校 30 周年）記念国際シンポジウム  
「世界における日本学研究の趨勢と連携」  
北京日本学研究センター大平財団優秀修士論文賞授賞式  
大平学校設立 30 周年記念 大平学校同窓会

趣 旨：1979 年 12 月、北京での日中文化交流協定締結調印式に臨んだ大平正芳元首相は、調印式の後の特別講演「新世紀をめざす日中関係」において、日中交流の礎なる人材養成プログラム（後に、「大平学校」と愛称される日本語研修プログラム）を発表した。翌年 9 月に設立された「大平学校」は、5 年間の間に 600 名の中国大学に在籍する日本語教員の研修を終えた。

北京日本学研究センターは、「大平学校」を継承し、日中交流の懸け橋となる大学院レベルの高度人材養成のために 1985 年に設立され、今日に至っている。今年はその 25 年目の節目であり、現在までに、600 名を越える修士・博士を中国の大学・官庁・企業に送り出してきた。

今回の国際シンポジウムは、大平学校・北京日本学研究センターの成果を踏まえ、日中文化学术交流をさらに進化させるとともに、さらに国際的な場にその活動を拡充してゆくことを目指すセンターの将来構想を確立するための起爆剤となるもので、日・中・韓・米・仏の招待講演者を含めて、100 件を越える記念講演・討論会・研究報告が予定されている。また、中国全土から、その数を越える日本学研究者が集結すると共に、全国からの応募を得て入賞した優秀修士論文の授賞も行われる。

今回は、併せて、大平学校同窓会総会も同時開催することとなり、大平学校で育ち、現在は中国全土の大学・組織・企業で日本語教育・日本研究・日中交流・共同事業等において指導的立場で活躍する同窓生が一堂に会することにもなる。日本学研究センターにとっては、過去の四半世紀をふりかえり、次の四半世紀を展望する機会となることを目的とする。

主催：北京日本学研究中心

共催：国際交流基金

後援：中国教育部、在中国日本大使館、大平正芳記念財団、中華日本学会、三菱商事、カシオ（上海）、伊藤謝恩育英財団（イトーヨーカ堂）、四国華僑華人連合会

会場：北京外国語大学 日程：2010年10月16日—17日

開会式来賓：在中国日本大使館大使・公使 北京外国語大学長学長、教育部副部長、国際交際交流基金理事長、大平正芳記念財団代表、三菱商事、カシオ、など  
後援団体・関係企業代表を予定

基調報告：青木保 元文化庁長官（青山学院大学特任教授）

嚴紹トウ（上に湯+下に玉） 北京大学教授、北京大学比較文学比較文化研究所長。